

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [賀川豊彦 \(5\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

### 賀川豊彦 (5)

賀川は神学校の授業に出席しない時は、スラムの朝の巡回をして病人を助け、口喧嘩を解決したり、飢えた人に食物を運んだりしました。

地元の人々から尊敬を受け「先生」と呼ばれるようになります。

賀川は自宅で学校を開き、彼の生徒たちが働きに行く前の早朝に、国語や算数その他基礎的な科目を教えました。また大人のためのもうひとつの学校として、夕食後、8時くらいまでアルコール依存症患者のために聖書の勉強も始めます。

栄養不良もスラムにおける最悪の問題のひとつです。

賀川は1912年、協同組合方式の一膳飯屋「天国屋」をつくります。

しかしながらこの事業は失敗します。

この協同組合の失敗は、協同組合の理念について彼を失望させることはなく、管理の重要性について幾つかの反省点を彼に与え、後々の事業の参考となります。

1913年、賀川は、彼を助けて熱心に活動する女性「ハル」 と結婚します。

ハルは誰にもまして賀川のグループを支え、貧しい人々の中で働きを進めていく中心人物になります。

1914年8月、第一次世界大戦の勃発直後に、賀川は米国のプリンストン大学および神学校に留学します。

4年の間に尊敬されかつ世間の人々に知られる人となったスラムを離れ、また心から愛する妻と離ればなれになっての旅立ちでした。

プリンストンでの落ち着いた研究生生活は速やかに過ぎ去り、1916年5月に神学士の学士号を受けて卒業します。

彼はその秋にシカゴ大学に入学するつもりでしたが、その間にニューヨークのスラムの研究をします。

そこには日本と同様のスラム街がありました。

そこで賀川は通りを行進する多国籍の6万人のデモを目撃します。

この集団の光景は労働者の連帯の力を彼に感じさせ、日本に帰ったら労働組合運動を進めようという決意を強めます。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.